

PTR 国際テニスシンポジウム レポート

2021年2月9日～12日



シンポジウムの概要

2月9日から12日(日本時間)の4日間「PTR国際テニスシンポジウム2021」が初のオンラインで開催され、世界50ヶ国より約1,500名が参加しました。今回はPTRメンバー以外の参加も歓迎しており、参加人数は昨年から33%も増えました。時差の関係上、日本では深夜から早朝の時間帯となりましたが、PTRジャパンのメンバーも意欲的に参加していました。

世界の著名なコーチを講師に招き、93名の講師陣により129のプレゼンテーションが実施されました。セッションは全て録画され、シンポジウム終了後も1ヶ月間は全てのセッションへのアクセスが可能で、見逃したセッションは後で見直すことが出来るなど、オンライン開催ならではのメリットが感じられました。セッションの視聴回数は14000回に達しました。

その他、シンポジウム参加者のネットワーキングの一環として、テーマ別に30以上のラウンジが設置され、共通の関心テーマを持った参加者が集まり意見交換の場も作られました。さらに、オンラインで参加者を自動マッチングして5分間で自己紹介し合うなど、世界のコーチや テニス関係者と繋がるイベントも行われました。

【主筆: 山本大介 <フジヤマカンパニー代表; ライフスキルコーチ>、補足: 鈴木真一】

1. 会員総会 & フラッグセレモニー



オープニングはPTR CEOのダン・サントラムよりウェルカムメッセージ。さらに、2020年の活動報告(USTA認定、WTAとの契約、カナダテニス協会とのパートナー契約、PPRメンバーの増加)について報告がありました。さらに、今後に向けた取り組みとして、バーチャルオンライン認定試験の促進、PTR普及のためのプロモーション、積極的な投資、など前向きな発表内容でした。



フラッグセレモニーでは、PTRジャパン代表の鈴木さんのメッセージから始まり、海外のコーチにバトンが繋がって行きました。CEOのダンが“*We are family*”と言っていたように、今年で設立45周年となるPTRの一体感が感じられました。



【会員総会の要約】

- 代表のカール・ヘイル(元ジャマイカとカナダのデ杯選手。昔、日本で働いた経験があり、その時の上司の鈴木代表からPTR加入を勧められた)から、今回のバーチャルシンポジウムの準備をしてくれたスタッフへの謝辞が述べられ、現況の報告(メンバー数の減少があるも財政基盤は充実)と新理事2名の発表。
- CEOのダン・サントラムから以下の報告：
 - シンポジウムの参加者は1,500名を超え、1/3がメンバー以外の参加。
 - 10の特別コースを含めて、93名の講師陣による129のプレゼンテーション。
 - 参加者同士の交流の場も設定(雑学知識クイズ、ポーカー、クッキング)
 - トレードショーには30を越す業者が参加。
 - USTAからの認証を受け、今まで以上に有効な関係。
 - WTAと”ツアーコーチプログラム”(2年間)を締結。
 - テニスカナダとのパートナー契約。
 - オンライン認定プログラムの始動(アメリカ以外)。
 - 「安全なスポーツ」との認識が普及し、全米のテニスへの参加は20%増となる。
 - 他のラケットスポーツの登録認定機関としての活動拡張。
 - PPR(Professional Pickleball Registry)→20%増
 - PPTR(Profesional Platform Tennis Registry)...2020年米国内伸び率第3位
 - テニスとの相乗効果が多く見られる
 - 多様性(年齢・性別・人種)の進展。(若いメンバーによる”GameChangers”活動)
 - 2020年はコロナの影響で活動予算削減のため、人員整理・給与やボーナスの削減を余儀なくされた。
- 《2021年の目標》
 - データベース管理・ウェブサイトの充実。
 - 11月にインディアンウェルズで「West Coast Conference」を開催予定。
 - 各種ウェビナーの継続開催。

*** 遂に、デニス・バンダーミーアが7月に『国際テニス殿堂』入り！**
- 最後に、マーケティングとスペシャルイベント責任者のジュリー・ジリーから、アメリカの各州で活躍したメンバーの表彰の発表。

2. 70以上のセッションと10のマスターコース



セッションは8つのカテゴリーに分類されていて、興味ある分野を探しやすくなっています。

ジュニア	アダルト	パフォーマンス	ビジネス
スポーツ科学	車椅子	コーチング	ネットワーキング

セッションは講師が事前に録画した講義動画をライブで流し、講師は参加者からの質問にチャットで答えたり、意見交換するなど、新たなコミュニケーションの形が作られていました。英語でのやり取りですが、書き込みなので英語のハードルは少し下がると思います。

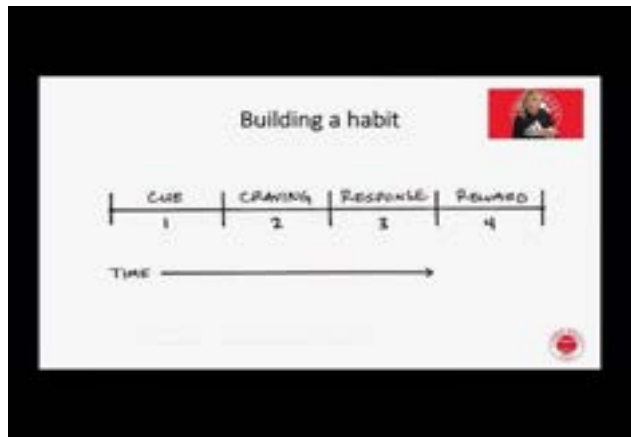


◎ セッション全ては紹介出来ませんが、興味深かったものを幾つかピックアップします。



シンポジウムのセッションの口火を切ったのは、2008年に“PTRキッズ”というプログラムをまとめ上げ、2015年(JTA)と2017年(PTR_JAPAN)に来日したマイク・バレルによる『子供のプレー環境を整える』というテーマのマスタークラスで、子供のステージを理解し、子どもたちに合わせた練習と競技の環境を準備することが大切であるとの内容。

<https://www.ptrtennis.org/Publications/TennisPro/Articles/jp/09JF-JP.pdf>



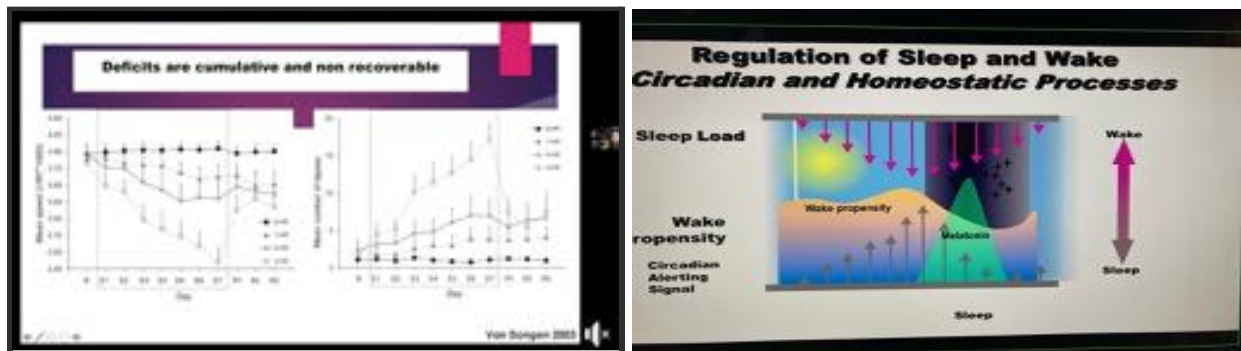
『いかに良い学習習慣を育てるか』イギリスでジュニア指導に情熱を注ぐエマ・ウェルズのプレゼンテーション。年齢による違いを見極め、まず「運動能力」、そして「チームとしての活動」、最後に「技術を身につける」という流れ。また「物事をポジティブに捉える」習慣も早くから！



スポーツ心理学の権威のジム・レーア博士による『The Power of Perspective (捉え方が持つ力)』コロナ禍におけるポジティブなマインドの持ち方。3つの大切なメッセージは、1) 感謝すること、2) 謙虚であること、3) 決して諦めないこと(戦い続けること)。



オランダテニス連盟のヘッドコーチ、ルーベン・ネイエンスによる『The Golden Circle of Physical Development』14歳以下のフィジカルコンディショニングについての方法論を「トレーニング分野、実行状態、実行ステージ」の3次元で捉える方法や具体例の解説あり。

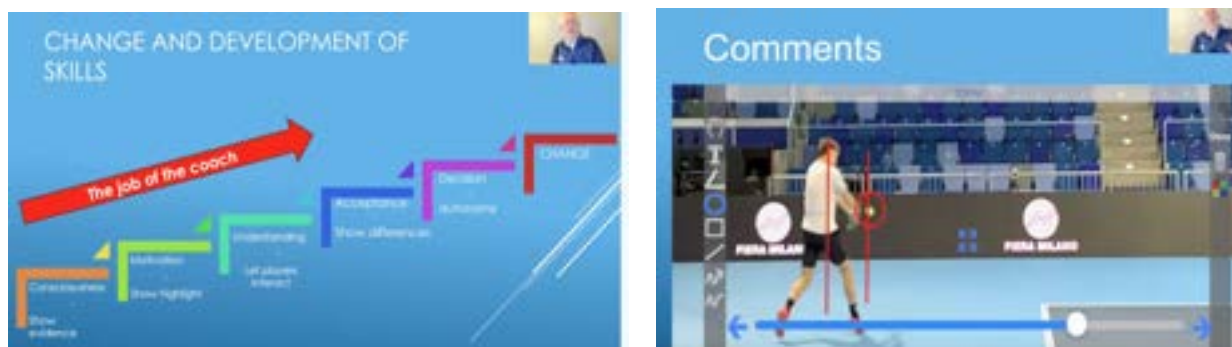


「睡眠不足は積み重なり、回復はできません」「睡眠の質が、パフォーマンスにも健康にも影響します」...メータ・シン博士の興味深い『睡眠負債』に関するプレゼンテーション。科学的な根拠に基づく説

明に説得力がありました。【寝溜めでは「負債」は解消できず、毎日少しずつの「早寝」や「昼寝」をすることで「返済」が可能となります。】

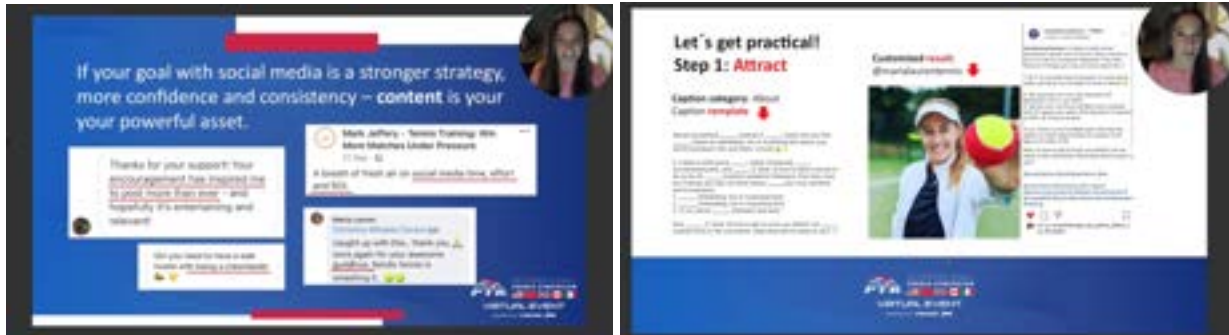


『誤解をされている"オレンジボール"...エマ・ドイルのセッション。このステージにじっくりと時間をかけ、技術や戦術への理解を深めさせる指導が望ましいのですが、往々にして、単なるグリーンへの通過点と考えられがちです。あるコーチは『"ROG"はイエローに向かったのレースではない』と言っています。日本ではコート設営の問題から大会の普及が遅れているようです。"ROG"の開発のアイデアは、「子どもたちの心身の成長に合わせた指導ができるような用具や施設や指導者育成をして、生涯スポーツとしてのテニスを子どもたちに伝えること」です。



『Future of coaching』ノルウェーテニス連盟のヘッドコーチ、オイヴィンド・ソルヴァルドからは、オンコートでのテクノロジー活用、コーチング情報の精査と優先順位付け、選手が自分で考える力をつけるための教育と目標設定など、選手育成のために今そしてこれからコーチが身に付けるべき考え方やスキルについて説明がありました。テクノロジーを活用することで、動画や数値などの根拠を持って選手にポジティブなフィードバックが可能になります。また、ノルウェーテニス連盟では、一般の競技者と車いすテニスの競技者に大別した上で、それぞれの選手とコーチと親のために、それぞれの

年代でどのようなこと(技術面、身体面、精神面等)をすればよいかを体系的に整理されて閲覧可能なウェブサイトを作っています。<JTAにも期待したいところですね!>



ノルウェーのクリスティーナ・ミハエラ・カラレ(Christina Mihaela Carare)による『ソーシャルメディアの活用』についてのプレゼンテーション。集客力を上げるためにどうSNSを活用したら良いか?とビジネス視点で大変参考になる内容でした。ヒントは3つのC: "Content! Content! Content!" 読み手が関心あるコンテンツをどう提供するかがポイント。



カイル・ラクロアの『The Loser's Edge (失敗から学ぶ)』289人のトップアスリートへの質問「アスリートとして最大の失敗は何か?」この調査結果をベースに、失敗から何を学び、未来の起こり得る失敗にどう行動やマインドの修正をすべきか。深い考察がなされていた。


最大の失敗で一番多かった回答(289人中54人)が、Perfecion(完璧を強く求める)でした。その要因として、Outcome(結果)を求めすぎることがあり、Quality of Life Risk(生活の質を脅かしてしまう)など、失敗したアスリートの事例の話はとても参考になる内容でした。ここでも「睡眠負債」の大きな影響について取り上げられており、「トップレベルのアスリートで良いパフォーマンスを目指すならば、10


時間の睡眠が必要！」とのこと。因みに、フェデラーは12時間寝ているとのこと！


【その他の要因】②諦め、③否定的な考え、④ストレス過多、⑤失敗への不安、⑥準備不足、⑦融通性のなさ(創造力不足)


【その他の興味深いプレゼンテーションの要約 (順不同)】


	<p>『良い指導者になるには？』</p> <ul style="list-style-type: none">● 何故コーチになったのか？情熱を注げるか？自分自身を表現できているか？居心地が悪くても享受できるか？...という問いかけ。● 初心者などへの指導はある意味コーチ主導で良いが、レベルが上がるにつれて相手の考えを尊重する指導への切替えが求められる。● 自分の理念を持ち、「熱意・没頭」と「人間関係」を柱にした指導を目指す。
<p>マーチン・ブラックマン <USTA プレーヤー育成部門責任者></p>	
	<p>『子どもたちの指導で気をつけること』</p> <ul style="list-style-type: none">● 子どもたちのスキル習得は様々な要素の影響を受ける。● 民族性・性差に加えて、実年齢と発育年齢と相対年齢を考えた指導が必要。● 親との問題が頻繁に話題に上るが、「親を教育する」という姿勢ではなく、「親と一緒に子供を育てる」という姿勢が大切。● 親の多くがテニスの経験がなく、経験のある親やインターネットの情報が主な情報源となっている現実がある。クラブからの丁寧な情報発信が必要。
<p>アン・パンクハースト博士 <PTR教育コンサルタント、 PTR指導マニュアル編纂></p>	


	<p>『スキルの指導方法』</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 何をどのように伝えるか。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 説明力: 簡潔に(KEEP IT SIMPLE) ○ デモンストレーション力: どこで見せるか? どのように見せるか? ポイントを明確にして角度を変えて見せる! 理解しているかを確認してから練習へ! ○ 観察力: 全体を見る。的を絞って見る。角度を変えて見る。即断せず、何度か見る。 ○ 分析力: 自分が考えることと比較し、合致点・不合致点を見つける。すぐ修正すべきか保留して時間を置くかを判断する。 ○ フィードバック: ポジティブに! ● 安全に楽しく指導する。
<p>リンダ・ロウ <PTR指導者育成コンサルタント></p>	

	<p>『攻撃的なプレーヤーへの変化』</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プレーヤーの成長の段階 <ul style="list-style-type: none"> ○ 1) 覚え始め、2) 安定化、3) 競技参加、4) リスクに挑戦、5) 高度なスキルを駆使 ● 今までの習慣や安心感などが変化への妨げとなる。 ● 攻撃的なプレーを身につけるためには: <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本の見直し、ドリルでの成功率を向上させる、ミスを受け入れる姿勢、強い意志、決断力
<p>マーチン・ビエニェク <ポーランド出身 TennisPro やPTRJapan Friendsに寄稿></p>	

	<p>『サーブの基本』</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 打球までに起きていることが正しいかどうかの理解=観察し分析して練習につなげる ● 「8つのステージ」の理解。 ● 最初の3段階が重要： <ul style="list-style-type: none"> ① スタンスとグリップ ② ボールトス ③ ローディング(力のタメ...肘、膝、脚の使われ方)
<p>マーク・コヴァックス <PTR科学委員会委員長。オールアメリカン/NCAAダブルスチャンピオン。ITPA主宰></p>	

	<p>『女の子に勇気を持たせる指導を』</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 家庭での躰が、男の子には「冒険的」であり、女の子には「完璧性・親和性」を求める傾向がある。 ● 完璧で仲良くしようとする傾向が、「チャレンジ精神」を阻害し指導を難しくさせる。 ● 目標設定、失敗への恐れ、周囲からの期待に応じて全てを制御しようとする気持ちが踏み出すことをためらわせる。 ● 100%努力をすることの意味、自分の目標設定、間違いとし損ないの違いを教え、良いフィードバックを与える。 ● おすすめのTED TALK: <ul style="list-style-type: none"> ○ RESHMA SAUJANI: 踏み出す勇気をもたせること https://www.ted.com/search?q=Teach+Girls+Bravely ○ CAROL DWEK: 「まだ」ということは先につながる 可能性がある! https://www.ted.com/talks/carol_dweck_the_power_of_believing_that_you_can_improve?utm_campaign=te dspring&utm_medium=referral&utm_source=tedcom share
<p>ミシェル・クレア <スポーツ心理学者></p>	

	<p>『障害者への指導でのコミュニケーション』</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アメリカの自閉症(ASD; Autism Spectrum Disorder)発症率 <ul style="list-style-type: none"> ○ 子供の54人に1人が自閉症(男子は37人に1人、女子は151人に1人)。11分に1人が自閉症との診断 ● 症状の違い: 言葉の理解力、自己表現力、コミュニケーション力など個人差が多い。 ● 分かりやすい言葉、ジェスチャー、絵や写真、iPadなど、理解力に合わせた手法や表現で伝える。 ● 最初は手取り足取りで伝えるが、徐々に自分でやらせるようにして、彼らにストレスがたまらないようにする。 ● 手をかけすぎずに、褒めて励ます。 ● ビジュアルスケジュール(絵や写真を並べてやることを示す)の活用。 ● 言葉で伝えて、やって見せて、自分でトライさせる。 ● 伝え方の基本: KEEP IT SIMPLE / LESS TALK / SHOW & TELL !!! ● ウェブサイト: https://loveservingautism.org ● YouTube: https://youtu.be/2c4VN0Gn1A4 <p style="text-align: right;"><非常に簡潔明瞭なプレゼンでした!-ss></p>
<p>リサ・プグリエセ・ラクロア <自閉症者へのテニス指導を行う”Love Serving Autism”を主宰></p>	


	<p>『動揺をしないためには』</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 集中力・精神力を高めるスキルとツール。 ● スキル: 自信、感情のコントロール、決意、集中 ● ツール: 目標設定、呼吸のコントロール、視覚化、独り言、ルーティン ● 受け止め方、考え方、行動のとり方等、コントロール可能なことに集中する。 ● 『次のポイントにどう向かうか、それしか考えない。』(ロッド・レーバー)
<p>メルリン・バンデブラーム <LTAの指導者育成スタッフ。臨床スポーツ心理学者></p>	




マーク・テナント
<初心者の指導を専門とし、LTA/ITF等で指導者講習を行ってきている>

『最初からサーブと他のストロークを関連付ける練習を』

- サーブを単独で練習することは...
 - ゴルフの練習と同じ
 - 単に技術だけの練習となり、興味が薄れる
 - 他のショットとのつながりがなく、実際に必要な 身体の反応につながらない
- 3本目のストロークに備える練習が必要=レシーブに反応。
- そうすることで、以下の部分を考える必要が出てくる。
 - 戦術面：準備・攻撃か守備かの決断
 - 技術面： 動きの必要性(リターンに対応して攻めるかつなぐか守るか)、グリップチェンジ、打点の判断 (リターンに対応しての決断に合わせての打点)
 - 身体面：肩より上での動作(投擲動作)、肩より下での動作(スイング動作)、打球後のバランス
 - 精神面：計画的なプレーをする習慣、自分主導から相手に反応する
 - 4つのエリアのどの部分を改善するかを考える。
- 練習には、現実味があって(LIVE)、楽しく(FUN)、動き(DYNAMIC)がなければならない。
- ウェブサイト: <https://i2ctennis.co.uk>
<https://tennis247.co.uk>

	<p>『ジュニアに指導する基本的戦術』</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 攻撃: パワー・正確さ・早いタイミング ● ラリー: ミスをしない・安定性・正確に・テンポの変化 ● 守り: 現状維持(我慢)・無力化する(相手の勢いを殺す)・逆転する ● スペースの使い方: コートカバリング(横方向のフットワーク)・相手を動かす(自分の優位な位置取り)・時間の使い方・自分に時間を作る ● ポジショニングとスライスの利用 ● ビデオを見ながら、様々な攻撃パターンの分析と紹介
<p>サイモン・ウィートリー <LTAのコーチ指導部門責任者></p>	

	<p>『回転のパワーの向上』</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現代のプレーに必要な要素 ● 地面を捉えて、脚部と体幹の安定した体勢を作り、胸部から先への動きに伝える運動連鎖が鍵となる。 ● ボールに対する良い動き、体幹の強さ、適切な運動連鎖、回転力の4つのそれぞれが完全でなければ、そこそこの結果しか出ない。 ● メディシンボールを使ったり、体幹のトレーニング方法をビデオを使って紹介した。
<p>ディーン・ホリングワース <カナダのストレングス&コンディショニングコーチ。テニスパフォーマンス・スペシャリスト></p>	

	<p>『ダブルス・サーブ・レシーブのドリル』</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 映像を駆使し、アイデア豊かなドリルを多数紹介してくれました。 ● ウェブサイト: https://www.jorgecapestany.com https://www.youtube.com/channel/UCFq_UGo-4cs51X5I-eMo72q
<p>ホルヘ・カペスタニー <PTRインターナショナル・マスタープロ></p>	

	<p>『子どもたちのための環境づくり』</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クラブに子どもたちが安心できるスペースを作る。 ● 情報を的確に受け取れる環境を作る。 ● 「何故？」ある練習をするのかを伝えることが最重要＝やる気 ● 練習場面で、どこから？ どこへ？ どうやって？ を明確に伝える。 ● 使う用具、課題とスコアリング、各個人で学習する。 ● 体力を考慮する。(ただし、エネルギーの容量は少ないかわり、回復も早い。) ● 注意力、集中力が低い。＝短時間の練習の組み合わせで、反復練習。 ● 利き腕側も使う練習。 ● 単に技術練習をするのではなく、様々な場面を設定し、その技術を使うスキルを育てる。 ● 自分の場所を見つける。 ● チャレンジレベルに変化と反復を。(Eゲームの設定) ● 自分と相手と仲間の意識。 ● 努力したことに対する評価。(成果に対する評価ではない) ● 「やる気」を起こさせることが鍵。 ● コーチの仕事： <ul style="list-style-type: none"> ① お巡りさん＝秩序を維持する ② お医者さん＝状況・状態を良くする ③ バーテンダー＝人とのつながりを作る手助け ● いかにかコーチがやりやすい環境を作るかではなく、いかに子どもたちが興味とやる気を持って取り組める環境を作り上げることができるかが、コーチに与えられた課題。
<p>マイク・バレル <“PTR KIDS”編纂。低年齢ジュニアの指導のカリスマ的存在。“evolve9”主宰></p>	

*****通常セッション以外にも2時間の『マスターコース』(10コース)が開催された！*****

通常セッションよりも内容は深掘りされて、また講師とはリアルタイムでのやり取りも可能となり、特定テーマの知識を深めたい方向けのコースでした。

◎様々なプレゼンテーションが目白押し！(9日はピククルボール関連)

PTR バーチャル国際テニスシンポジウム 2021 タイムテーブル				
<講師名> 太字: 基調講演、 細字: 分科講演、 斜体: スペイン語				
<カテゴリー> P=パフォーマンス、J=ジュニア、A=一般、C=コーチング、S=Sスポーツ科学、A'=車いすテニス、B=ビジネス				
	2/9	2/10	2/11	2/12
	TUE	WED	THU	FRI
時間	0:00-0:10 (10)	1:00-2:00 (60)	0:00-2:00 (120) MasterClass	0:00-2:00 (120) MasterClass
講師	PPR Welcome from Dan Santorum & Industry Leaders: Dan Santorum, Justin Maloof, Christine Barksdale, Ken Herman	Karl Hale Dan Santorum	Michele Krause	Olivind Sorvald
内容		PTR Annual Membership Meeting	inTENNSity Fitness Games: How to Maintain the Standard	The Future of Coaching Applied
時間	0:15-0:35 (20)	2:00-2:10 (10)	0:00-2:00 (120) MasterClass	0:00-2:00 (120) MasterClass
講師	Jarrett Chirico		Linda Low	Emma Doyle
内容	Monetizing Pickleball	FLAG CEREMONY	Advancing Your Observation, Analysis and Feedback Skills	Kinesthetic Learning Academy - Feel Based Technical Corrective Strategies
時間	0:40-1:00 (20)	2:10-2:40 (30)	1:00-1:20 (20)	1:00-2:00 (60)
講師	Dorian Adam/Lea Whitwell	Martin Blackman /P	Leo Alonso	Team Head
内容	The Importance of a Dynamic Warmup	USTA Player Development	Como manejar sus drills para ser exitoso	Private Meeting by Invitation
時間	0:40-1:00 (20)	2:45-3:05 (20)	1:20-1:40 (20)	2:00-2:30 (30)
講師	Randi Levenbaum	Dr. Anne Pankhurst /C	Juan Pino	Dr. Jim Loehr /S
内容	How to Utilize Referees for a Successful Sanctioned Pickleball Tournament	Part 1: What to Coach, When, to Whom, Why and How	Algunas consideraciones en el entrenamiento de jugadores en desarrollo	Other Side of COVID
時間	1:05-1:15 (20)	3:10-3:30 (20)	2:00-2:20 (20)	2:35-2:55 (20)
講師	Don Stanley	Adam Ford /C	Gigi Fernandez /A	Carl Maes /P
内容	The New Rules and Our Top 10	The New Certification Process and the Role PTM Programs in Coaching Education	5 Secrets for Successful Doubles	Functional Analysis: How to Get to the Correct Problem
時間	1:30-1:50 (20)	3:10-3:30 (20)	2:00-2:20 (20)	3:00-3:20 (20)
講師	Pickle Ball Panel	Gabor Pelva /C	Jose Manuel Pastrana	Dr. Anne Pankhurst /C
内容	Jarrett Chirico, Collin Johns, Melissa McCurley	Creating a Learning Environment	Desarrollo y Promocion del Tenis Base	Part 2: The Challenges of Coaching Junior Players - Working with Parents
時間	2:30-2:50 (20)	3:35-3:55 (20)	2:40-3:00 (20)	3:00-3:20 (20)
講師	Ken Herman	Linda Low	Leo Alonzo	Alex Covington /C
内容	How to Run a Financially Successful Pickleball Tournament	How to Coach Skills	Manage Your Drills for Success: The ability to design and conduct the drills will determine the level of your lesson.	How to Land Your Dream Job

時間	2:50-3:10	3:35-3:55 (20)	2:40-3:00 (20)	3:00-3:20 (20)
講師		Len Simard /B	Marco Osorio	Juan Sala Ramos /C
内容	Top tips & Favorite Drill/Event	Preparing Yourself for the Next Career Opportunity	System 4	Innovation in Tennis During COVID—19
時間	3:20-3:40 (20)	3:35-3:55 (20)	3:00-4:00 (60)	3:25-3:45 (20)
講師	Jason Jamison	Marcin Bieniek /C	Gigi Fernandez	Nick Bollettieri
内容	How to Conduct the Perfect Pickleball Clinic	The Transformation of the Offensive Player	Q&A with Gigi Fernandez in the Lounge	Qualities of a Successful Coach
時間	4:00-4:20 (20)	3:55-4:20 (25)	3:00-3:20 (20)	3:25-3:45 (20)
講師	Taylor Taylor	Dean Hollingworth /S	Sarah McQuade /C	Abby Tagwood, Mat Perry, Richard Sockey-Addo /C
内容	Buying Time! And taking It Away from your Opponents	Q&A with Aleksandra Wozniak	Quality Communication Matters	The ITIA: Protecting Tennis
時間	4:20-4:40 (20)	4:00-4:20 (20)	3:00-3:20 (20)	3:50-4:10 (20)
講師	Nicole Hobson	Mike Woody /B	Dave Miley /C	Kyle LaCroix /C
内容	Assessing Your Student and Creating a Lesson Plan - Maximizing the Open-Closed-Open Lesson Structure	Tennis Tips in the Fast Lane: For Tennis Professionals	Kazakhstan Tennis Association	Athletes' Experiences in Great Coaching Environments
時間	4:45-5:05 (20)	4:00-4:20 (20)	3:00-3:20 (20)	3:50-4:10 (20)
講師	Jarrett Chirico, Dan Santorum	Christina Carare /B	Scott McCulloch /B	Michelle Riklan /B
内容	Pickleball and the Future of Racquets	How to Get Results with Social Media	Create Training & Career Development Pathways for You and Your Staff	Mastering Your Resume
時間	5:10-5:30 (20)	4:25-4:45 (20)	3:00-3:20 (20)	4:15-4:35 (20)
講師	Collin Johns	Dr. Mark Kovacs /S	Jorge Andrew	John Borden /B
内容	"Turning Tennis Players into Pickleball Players" - The Coaching Fast Track of What to Use and What to Lose	Style vs Fundamentals of the Tennis Serve. Do you know the differences?	Las Mejores Ideas para su Programa de Adultos Principiantes	Smart Non-Profits: Running a Business for the Community
時間	5:40-6:00 (20)	4:25-4:45 (20)	3:25-3:45 (20)	4:15-4:35 (20)
講師	Melissa McCurley	Dr. Michelle Cleere /S	Mark Brouker /B	Ajay Pant /B
内容	Tournament Desk Operations - How Planning and Preparation Can Help You!	The Pursuit of Perfect - Teaching Girls, it's OK to be less than Perfect!	Lessons from the Navy: How to earn trust, lead teams and achieve organizational excellence	Debunking Leadership Myths
時間	6:00-6:20 (20)	4:50-5:10 (20)	3:25-3:45 (20)	4:40-5:00
講師	Linda Einsiedler	Holger Losch	Scott Colebone	Richard Spurling -A
内容	Pickle Ball Ratings - Using Your Student's Ratings to Structure Your Clinics	How to set up a fully inclusive program in your club or facility focusing on differently abled players both physical and visual.	5 Simple Steps to Organize Your Life at Work and Home to Minimize Stress, and Maximize Creativity	Adapting Your Instruction for Children with Autism Spectrum

時間	6:25-6:45 (20)	4:50-5:10 (20)	3:40-4:00 (20)	4:40-5:00 (20)
講師	Jason Jamison, Hope Tolley	UTR /J	Alfredo de Brá	Allistaire McCaw /S
内容	Programs and Services to Help You	How to use UTR High School & the all-new UTR Team Tennis to increase year-round junior participation	Uso de Pelotas de Baja comprecion en Desarrollo de Patrones Generales	7 Ways to Win 2021 - Self Development and Leadership
時間	6:45-7:05 (20)	4:50-5:10 (20)	3:50-4:10 (20)	5:05-5:25 (20)
講師	Sarah Ansbury	Alistaire Higham /J Claire Carter	Doug Cash /B	Chris Gale /J
内容	Doubles	Part 1: Understanding the Demands of the Game	The 10 Things Every Director Should be Doing Post 2021	Junior lesson structure and templates: establishing a launch pad through both progression and regression
時間	8:30-10:30 (120) MasterClass	5:15-5:35 (20)	3:50-4:10 (20)	5:05-5:25 (20)
講師	Jason Jamison	Mike Barrell /J	Suzan Kohlhausen /B	Alistair Higham /J Claire Carter
内容	Youth Play and Development	Understanding Children Learning: Building a Curriculum	?	Part 2: Understanding the Demands of the Game
時間		5:15-5:35 (20)	4:00-4:20 (20)	5:30-5:50 (20)
講師		Marie-France Mercier /J	Pablo Arraya	Ruben Neyens /J
内容		Quality Standards for Kids Tennis	Historias de Circuito ATP: Aprendiendo de los Problemas Alrededor del Mundo del Tenis	The Golden Circle of Physical Development: Why, How and What
時間		5:40-6:00 (20)	4:15-4:35 (20)	5:30-5:50 (20)
講師		Merlin van de Braam /P	Jo Ward /S Susanne Williams	Scott Handback /J
内容		Mental Skills: Distraction Management Training	Coaching Female Players: The Link Between Physique and Technique in Forehand Groundstrokes	Navigating the New Junior Tennis Pathway & College Tennis Recruiting during COVID
時間		5:40-6:00 (20)	4:15-4:35 (20)	5:55-6:15 (20)
講師		Lynne Rolley /P	Dean Hollingworth /S	Craig O'Shannessy /P
内容		Lessons from a Legendary Coach	Developing Explosive Rotational Power	A Million Points of College Tennis
時間		6:05-6:25 (20)	4:30-5:00 (30)	5:55-6:15 (20)
講師		Laura Vallverdu /P	Dr. Michelle Cleere	Jim Harp
内容		The 4 Pillars that helped my pathway as a female coach	Q&A with Dr. Michelle Cleere in the Lounge	Developing a Junior Performance Pathway
時間		6:05-6:25 (20)	4:40-5:00 (20)	6:20-6:40 (20)
講師		Holger Losch /A	Lisa Pugliese-LaCroix /A	Corey Gauff
内容		Coaching Competitive Wheelchair Tennis Players	Connecting with Your Athletes - How to Facilitate Language Skills for a Successful Adaptive Tennis Experience	Coaching a Performance Athlete

時間		6:05-6:25 (20)	4:40-5:00 (20)	6:20-6:40 (20)
講師		Jamea Jackson /P	Larry Lauer /S Dave Ramos	UTR /A
內容		When One Door Closes	Part 1: The Second Most Important Shot in Tennis: The Return of Serve - An Integrated Approach	Introducing UTR Leagues: Empowering Clubs and Removing the Middleman in Adult & Junior Team Tennis
時間		6:30-6:50 (20)	5:05-5:25 (20)	6:20-6:40 (20)
講師		Jorge Capestany -A	Mark Tennant /J	Larry Laurer Dave Ramos /S
內容		Best doubles Drills	Connecting the Serve with the Rest of the Game from the Very Start	Part 2: The Second Most Important Shot in Tennis: The Return of Serve - an Integrated Approach
時間		6:30-6:50 (20)	5:05-5:25 (20)	6:45-7:15 (30)
講師		Jorge Capestany -A	Frank Giampaolo /J	Dr. Meeta Singh /S
內容		Best Serve and Return Drills	The Tennis Parents Alliance - Water the Roots to Grow the Trees	Sleeping Your Way to the Perfect Tennis Game - Insights into Sleep Science Effects of Performance and Health
時間		6:30-6:50 (20)	5:30-5:50 (20)	7:15-7:30 (15)
講師		Lee Whitwell /A	Simon Wheatley /P	Dan Santorum
內容		Active Dynamic Warmup	Developing SMART Players of the Game: Core Tactics to Teach Our Junior Players	Conference Closing
時間		6:50-7:10 (20)	5:30-5:50 (20)	7:15-9:15 (120) MasterClass
講師		Simon Gale /A	Emma Wells /J	Dean Hollingworth
內容		Programming Success - Build for the Family	Empowering Positive Learning Habits in Kids Tennis	Building Rotational Power from the Ground Up
時間		7:10-7:30 (20)	5:55-6:15 (20)	7:30-8:00 (30)
講師		Emma Doyle /J	Margie Zesinger /P	NETWORKING MEETUP
內容		Orange Ball: The Misunderstood Middle Child	The Power of Integration in Player Development	
時間		7:30-8:00 (30)	5:55-6:15 (20)	8:00-9:00
講師		NETWORKING MEETUP	Oivind Sorvald /P	VIRTUAL SOCIAL
內容			The Future of Coaching	PTR Cooking Night Powered by Taste of Tennis - Bill Riddle
時間		8:00-9:00 (30)	6:20-6:40 (20)	8:00-10:00 (120) MasterClass
講師		VIRTUAL TRIVIA	Vania King /A	Kyle Lacroix
內容		Bill Riddle	Keys to Winning Doubles at Any Level	The Loser's Edge

時間		8:00-10:00 (120) MasterClass	6:20-6:40 (20)
講師		Mark Brouker	UTR/P
内容		Leading for Success - Cultivating Your Leadership Skills	UTR College: How junior players & development coaches can leverage new tools on UTR
時間		8:00-10:00 (120) MasterClass	6:20-6:40 (20)
講師		Michelle Riklan/Len Simard	Andres Alarcon
内容		Preparing Yourself for the Next Career Opportunity	<i>Mi Experiencia en el Mundo del Tenis</i>
時間	23:00-1:00 (120) MasterClass	23:00-4:00 (300)	6:40-7:00 (20)
講師	Mike Barrell	TRADE SHOW	Herbert Schnaubelt /A
内容	Competition, the tipping point for every kid! Building a Healthy Place to Play.		Emotion Runs the Show - The Role of the PRO in Adult Tennis
時間			6:40-7:00 (20)
講師			Michele Krause /A
内容			inTENNSty Fitness: The Ultimate Group Fitness Class
時間			7:00-7:20 (20)
講師			Jim Courier
内容			?
時間			7:30-8:00 (30)
講師			NETWORKING MEETUP
内容			
時間			8:00-9:00 (30)
講師			VIRTUAL POKER
内容			Poker Night presented by HEAD

[EDIT/CREATE]
SHINICHI SUZUKI
PTR JAPAN

全てのセッションのフィナーレは、「Cooking Night with PTR」！！

アメリカのPTRマスタープロフェッショナルの一人であるホルヘ・カペスタニーによるクッキングでした。メニューは《ローカントリー・ボイル》で、南部を舞台にした映画「フォレストガンプ」でお馴染みのシュリンプ、ポテト、コーン、ソーセージなどを南部特有の調味料を加えて大鍋で茹でる料理。リモートで参加のビル・リドルによる《ファジーネーブル》のレシピも紹介されました。撮影ディレクターは、今回のバーチャルシンポジウムの準備運営の中心となったCOOのブライアン・パーコネン。お腹が空いたCEOのダン・サントラムやシンポジウムスタッフのミレナ・アラウホ・スティーブンス(元ブラジルチャンピオン、PTRのワークショップのコーディネートを担当)やケイトリン・フリーズ(今回の講師陣の日程調整を一手に引き受けていました！)等も登場し、シンポジウムの無事の終了を祝っていました。

VR(バーチャルリアリティ)が更に発達すれば、オンラインでも参加者も一緒に料理を楽しめる時代が来るかもしれません。



海外のテニスコーチが持つビジネススキル

シンポジウムに参加して感じたことは、ビジネス分野のセッションが多かったことと、海外のコーチのビジネス意識・スキルの高さです。具体的には、自分の価値を発信する能力(プレゼンテーション能力・資料作成)、テクノロジー活用する力、英語でのコミュニケーション能力です。例えば、今年のセッション発表は20分の時間制限がありましたが(通常は50分)、時間内に多くの情報をPPT資料に簡潔にまとめ、オンラインプラットフォーム上で視聴者の興味関心を惹くコンテンツを配信していました。将来のシンポジウムでは日本のコーチがセッションで発表する場も出てくると思います。コーチには、「Lifelong Learning(生涯学習)」が必至ですが、これからはビジネススキルもコーチに必要な能力だと感じました。

参加したPTRジャパンメンバーの感想

鈴木真一 (PTRジャパン代表)



PTR史上初のバーチャル・テニスシンポジウム。災い転じて福となす。いつもならばプレゼンテーションの時間が重なってしまっで見逃し聞き逃してしまうようなセッションも、終了後30日間、好きなだけ見直しができるシステムでカバーできたことは良かったです。時間と情報量の都合で1つのセッションは20分前後という短時間でしたが、ポイントを端的に説明してもらえたことは良かったですし、3日間で70以上もの情報を提供してもらえたことは素晴らしいことだったと思います。個人的には、どうしてもライブで聞きたいという内容も多く、まさに「睡眠負債」の蓄積の3日間でした。

昨年秋に発足した「PTRジャパン分科会」のメンバーである山本大介さんには、今回のレポート編集にご尽力いただき、私のレポートを綺麗に編集していただきました。多大なるご協力に感謝します。

今後も、分科会としての様々な情報発信にも期待しています。

河本卓也コーチ (フェアリー・テニス・フォーラム)



今回は、オンラインでの国際シンポジウムとなりましたが、テニスコーチとしての資質を高める場として、多分野において情報を提供してくれるシンポジウムは、他にはないのではないのでしょうか。皆さんもきっと、日々のテニスの指導に役立つような興味、関心のある情報ソースが、この国際シンポジウムで見つかると思います。

関口義和コーチ (テニスコネクトワールドジャパン代表)



今回で3度目の参加でしたが、現地では全ての講義が、受講できませんが、今回のシンポジウムでは、後日に受講してみたかった講義が受講できたり、後日、見直しの復習ができたりとメリットが沢山あったシンポジウムだったと思います。しかし、英語の壁はとても高くとても難しい内容ばかりでしたが、これからのIT技術を駆使して参加することにより、1歩でも2歩でも前に進む事は出来ると改めて、実感しております。現状に刺激が足りていない方は、ぜひ、PTRの素晴らしい取り組みに積極的に参加してみてください！

佐藤 勝コーチ (まさるテニススクール代表)



シンポジウムは初めての参加でした。英語なのでほとんど何を言っているかわかりませんでした。けど、できるだけオンコートの講義を見つけてみました。やっぱり、Show & Tellだなと再確認しました。あと、英語を聞いていると少しずつですが聞き取れるような気がしました。来年までコーチングの勉強はもちろん、もっと英語を聞き取れるように勉強しようと思います。



Make A World of Difference!!

PTR VIRTUAL TENNIS SYMPOSIUM REPORT: ©PTR JAPAN, All rights reserved. April, 2021